

UBS、クレディ・合併へ

発足40年 河合塾運営の文化研究所

予備校文化発信歴史に幕

公教育と一線、市民に教養

学び、生きる意味伝えた

日本初、トクホのコーヒーで食後の血糖値の上昇をおだやかに!

京都新聞夕刊

3月20日 月曜日

夕刊の紙面

物価対策 2兆円超支出

麻井六冠「大きな収穫」

京都市中京区烏丸通西山川ビル

駐車場・不動産 (売買・賃貸・管理) お任せ下さい

キヨウテク株式会社 075-365-5000

20日夜は、おむね晴れる。21日は、温った空気が流れ込みため、次第に雲が広がる見込み。夜は雨の降る所もあるだろう。

琵琶湖の水位

初回限定 540円

※おひとり様3セットまで購入可能!

“予備校文化”発信歴史に幕



主任研究員以外でも上野千鶴子、柴谷篤弘、鷲田清一、小出裕章の各氏は京都ゆかりの文化人が、全国の会場で予備校生に語りかけた。講演を収めた河合ブックレットは、42冊で完結した



谷川道雄さん 木村敏さん 中川久定さん

予備校の運営をしたが、受験技術だけでなく、広い視野と思考力を養う講演会に加え、一般向け学術シンポジウム、出版を展開した河合塾の付属組織「河合文化教育研究所」（名古屋市・哲学者の広沢涉、京都大教授だった仏學家・中川久定、精神病理學・木村誠、中國史・谷川道雄の各氏らが主任研究員を務め、発足から約40年。研究員の多くが故人となり、学びの環境も変化した。「予備校文化」の發祥を続けた異色の研究所が3月末活動に幕を引く。

学が時代を反映し、眞理的な局の加藤万里さんは、大学生より的確に質問すると言われた」と振り返る。

仏文学、精神病理学、中国史…泰斗がシンポや出版

公民教育と一線、市民に教養

河合：シヘレント第一号を執筆した上野千鶴子さんの話
白書
「マサヒトの少年の末路」が、自閉症の原因を「母原病」とする誤
りを讀書会で指摘された。絶版や回収の代わりに、訂正と謝罪を
収録。増補版刊行という、出版界で前例のない処理をした上で、
モルタルカードと書いていた。過ちは正す、そして記録に残
す。忘れたがる想い出だ。学校文化からひきだた「二ノクな読師
たちが、愛験勉強に特化せずに、讀講生に学ぶ意味・生きる意味
とは何かを伝えた予備校文化の一時代が終わるを迎える。感懐を
覚えます。

京都でシンポを開いた。若手として登壇した樋口寛、京都女子大名脇教授は、谷川さんと湖南研究会に誘われ、研究紀要を書いた」と活発だった活動を記憶する。予備校での講演を収録して書籍化した「河合アッカレット」

（内田季）

桜の咲く頃の京都で毎年東京、京都、福岡の主な研究者が集まって互いに意見を発表した。87年には8回の連続講座「現代をどう見るか」を開催された。京都新聞社が後援した。社会統治長時代の土井たか子さんや瀬戸内寂聴、久賀販の名氏が政治や幸福、科学を市民に語りかけた。谷川さんによると日本の中中国史研究を中国向けに翻訳出版する活動も支援。91年に京都でシンポを開いた。華音と京都新聞社が後援した。社会統治長時代の土井たか子さんや瀬戸内寂聴、久賀販の名氏が政治や幸福、科学を市民に語りかけた。谷川さんによると日本の中中国史研究を中国向けに翻訳出版する活動も支援。91年に京都でシンポを開いた。華音と